

A board for hanging and displaying a product

Publication Number: JP02-34467

Publication date: 1990-3-5

Inventor(s): YOSHIHIRO OKUBO

Applicant(s): Kewpie Corporation

IPC Classification: B 65 D 73/00

Claims

1. A board for hanging and displaying a product, wherein a plurality of holes, each smaller than a product package, are punched in a board for hanging, and the holes are sealed from the backside by bonding a backing material with a pressure-sensitive adhesive coated in one side, to a backside of the board for hanging.

2. The board for hanging and displaying a product according to claim 1,

wherein a covering material to cover an exposed side of the backing material is set in a position of a slit portion for opening the product package being to contact with the exposed side of the backing material within the hole.

3. The board for hanging and displaying a product according to claim 2,

wherein the covering material is a part of the board for hanging.

No title available

Publication number: JP2034467U
Publication date: 1990-03-05
Inventor:
Applicant:
Classification:
- International: B65D73/00; B65D73/00; (IPC1-7): B65D73/00
- European:
Application number: JP19880113360U 19880831
Priority number(s): JP19880113360U 19880831

Report a data error here

Abstract not available for JP2034467U

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

⑪ 公開実用新案公報 (U) 平2-34467

⑥Int. Cl. 5

B 65 D 73/00

識別記号

府内整理番号

H 7818-3E

⑪公開 平成2年(1990)3月5日

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全3頁)

④考案の名称 商品の吊り下げ陳列用台紙

②実願 昭63-113360

②出願 昭63(1988)8月31日

⑦考案者 大久保義弘 東京都国分寺市本多1丁目4番19号

⑦出願人 キューピー株式会社 東京都渋谷区渋谷1丁目4番13号

⑧代理人 弁理士 井上重三

⑤実用新案登録請求の範囲

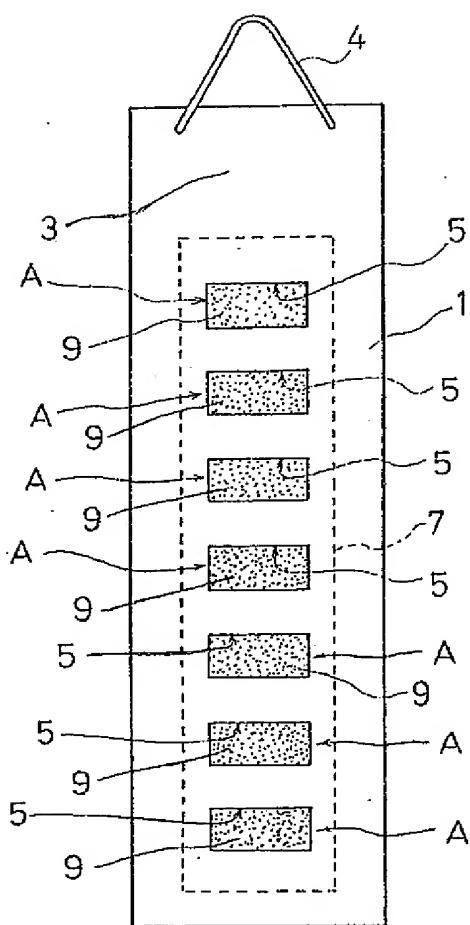
- (1) シート材からなる吊り下げ台紙に商品の包装袋より小さい透孔を複数個あけ、かつ、この吊り下げ台紙の裏面に、片面に感圧接着剤を塗布した裏当材を接着して前記透孔を裏側から塞いだことを特徴とする商品の吊り下げ陳列用台紙。
- (2) 透孔内であつて商品の包装袋の開封用切込み部と接する位置に、裏当材の露出した片面を覆うカバー片を設けた請求項1に記載の商品の吊り下げ陳列用台紙。
- (3) カバー片が吊り下げ台紙の一部である請求項2に記載の商品の吊り下げ陳列用台紙。

図面の簡単な説明

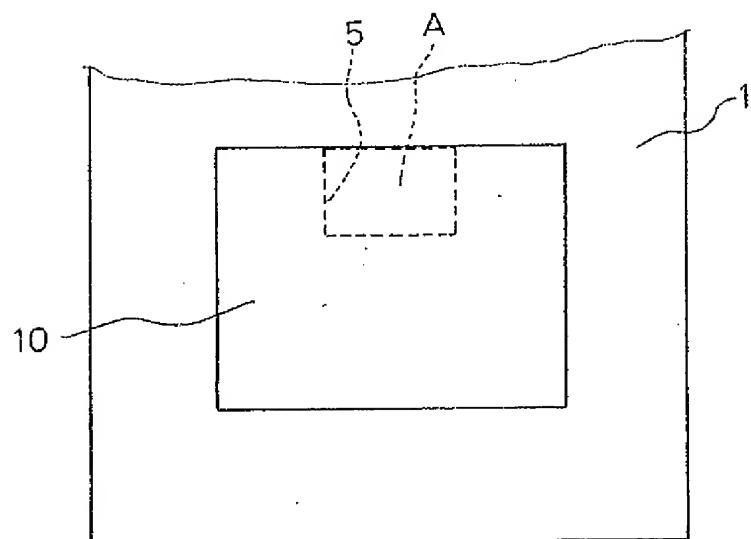
第1図は本考案の実施例に係る商品の吊り下げ陳列用台紙の正面図、第2図は同じく拡大部分断面図、第3図は商品を取り付けた状態の部分正面図、第4図は包装袋入り商品の説明図、第5図は本考案の他の実施例に係る商品の吊り下げ陳列用台紙の正面図、第6図は商品を取り付けた状態の部分正面図である。

1～吊り下げ台紙、5～透孔、6～吊り下げ台紙の裏面、7～裏当材、8～裏当材の片面、9～感圧接着剤、10～商品の包装袋、11～開封用切込み部、12～カバー片。

第 1 図

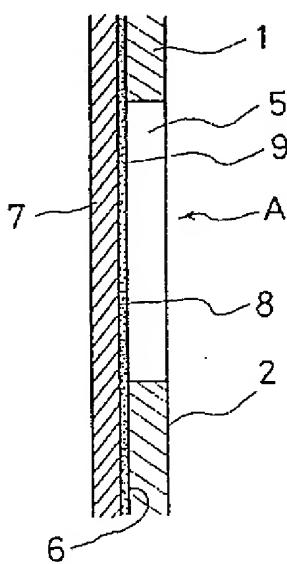
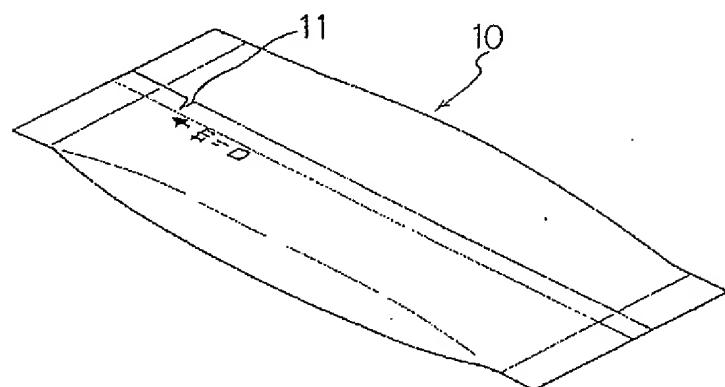


第 3 図



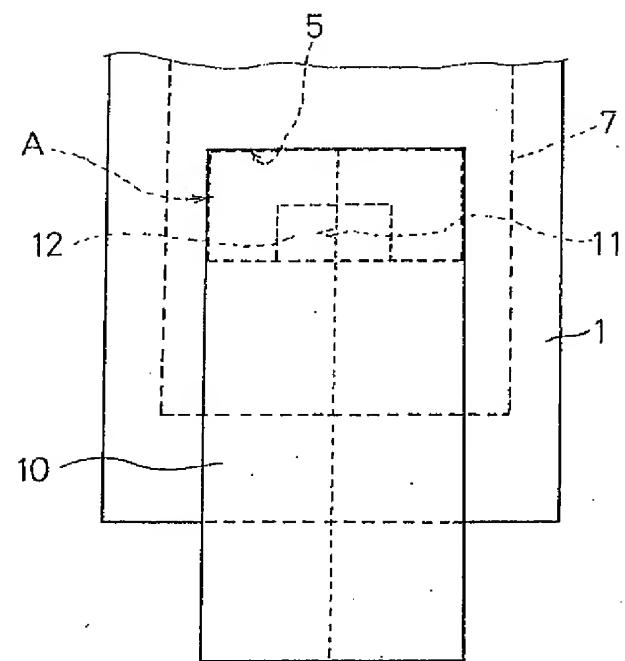
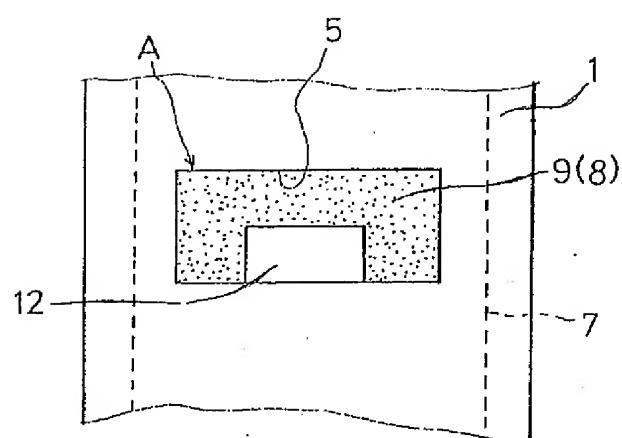
第 2 図

第 4 図



第 6 図

第 5 図



⑫ 公開実用新案公報 (U)

平2-34467

⑬ Int. Cl.

B 65 D 73/00

識別記号

庁内整理番号

H 7818-3E

⑬ 公開

平成2年(1990)3月5日

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全3頁)

⑭ 考案の名称 商品の吊り下げ陳列用台紙

⑮ 実 願 昭63-113360

⑯ 出 願 昭63(1988)8月31日

⑰ 考案者 大久保 義弘 東京都国分寺市本多1丁目4番19号

⑱ 出願人 キューピー株式会社 東京都渋谷区渋谷1丁目4番13号

⑲ 代理人 弁理士 井上 重三

⑳ 実用新案登録請求の範囲

- (1) シート材からなる吊り下げ台紙に商品の包装袋より小さい透孔を複数個あけ、かつ、この吊り下げ台紙の裏面に、片面に感圧接着剤を塗布した裏当材を接着して前記透孔を裏側から塞いだことを特徴とする商品の吊り下げ陳列用台紙。
- (2) 透孔内であつて商品の包装袋の開封用切込み部と接する位置に、裏当材の露出した片面を覆うカバー片を設けた請求項1に記載の商品の吊り下げ陳列用台紙。
- (3) カバー片が吊り下げ台紙の一部である請求項2に記載の商品の吊り下げ陳列用台紙。

㉑ 図面の簡単な説明

第1図は本考案の実施例に係る商品の吊り下げ陳列用台紙の正面図、第2図は同じく拡大部分断面図、第3図は商品を取り付けた状態の部分正面図、第4図は包装袋入り商品の説明図、第5図は本考案の他の実施例に係る商品の吊り下げ陳列用台紙の正面図、第6図は商品を取り付けた状態の部分正面図である。

1～吊り下げ台紙、5～透孔、6～吊り下げ台紙の裏面、7～裏当材、8～裏当材の片面、9～感圧接着剤、10～商品の包装袋、11～開封用切込み部、12～カバー片。

公開実用平成2-34467

公 4 07-28133

登録 2111766

⑩日本国特許庁 (JP)

⑪実用新案出願公開

⑫公開実用新案公報 (U)

平2-34467

⑬Int.CI.⁵

B 65 D 73/00

識別記号

府内整理番号

H

7818-3E

⑭公開 平成2年(1990)3月5日

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全 頁)

⑮考案の名称 商品の吊り下げ陳列用台紙

⑯実 願 昭63-113360

⑰出 願 昭63(1988)8月31日

⑱考 案 者 大久保 義弘 東京都国分寺市本多1丁目4番19号

⑲出 願 人 キューピー株式会社 東京都渋谷区渋谷1丁目4番13号

⑳代 理 人 弁理士 井上 重三

明細書

1. 考案の名称

商品の吊り下げ陳列用台紙

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) シート材からなる吊り下げ台紙に商品の包装袋より小さい透孔を複数個あけ、かつ、この吊り下げ台紙の裏面に、片面に感圧接着剤を塗布した裏当材を接着して前記透孔を裏側から塞いだことを特徴とする商品の吊り下げ陳列用台紙。

(2) 透孔内であって商品の包装袋の開封用切込み部と接する位置に、裏当材の露出した片面を覆うカバー片を設けた請求項1に記載の商品の吊り下げ陳列用台紙。

(3) カバー片が吊り下げ台紙の一部である請求項2に記載の商品の吊り下げ陳列用台紙。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は複数個の商品を個別に台紙上に取り付け、この台紙を吊り下げる陳列販売する商品の吊り下げ陳列用台紙に関する。

〔従来の技術〕

商品の吊り下げ陳列用台紙は、表面に商品名や宣伝文等が印刷され下げ紐等を備える吊り下げ台紙上に、一種類あるいは複数種類の包装袋入り商品を複数個取り付けたものを店頭や売り場等に吊り下げて陳列し商品の販売に供している。そして、商品購入者は台紙上の適当な位置から目当ての商品を包装袋ごと取り外して購入するものである。

このような商品の吊り下げ陳列用台紙では、従来、ステープラーを使い商品の入った包装袋の上端部を止め針で台紙に固定することにより取り付けていた。

〔考案が解決しようとする課題〕

しかしながら、上記従来の商品の吊り下げ陳列用台紙では、包装袋入り商品の個々をステープラーの止め針で台紙上に固定し吊り下げるものであるため、台紙への商品の取り付けを店頭で簡単に荷なうことができず、販売時間の経過とともに台紙上の商品の残余が少なくなっても台紙上への商

品の補充ができにくく商品陳列数が漸減するままに商品を売り切るまで使用しなければならず、陳列展示効率がよくないという問題があった。

また、購入者が台紙上のランダムな位置から商品を取り去ると、台紙上のその部分に余白が生じて台紙上の商品配置が不揃となつて見栄えがせず、従来の台紙では商品の取り付けあるいは異なる位置への付け替えが簡単にできないことからその修正も出来にくいという問題がある。

さらに、従来の商品の吊り下げ陳列用台紙では、商品の包装袋に止め針の穴があき包装袋を傷付けるという問題もある。

本考案は、上記の点に鑑みてなされたものであり、販売された商品のあとに生じる台紙上の空白部に商品の補充が簡単にでき、台紙上で商品の位置変えが自由にできて奇麗な商品陳列ができ、台紙への取り付けに際し商品の包装袋を傷めることがない商品の吊り下げ陳列用台紙を提供することを目的とする。

また、本考案の他の目的は台紙から取り外すと

きに商品の包装袋の開封用切込み部から包装袋が破れることがない商品の吊り下げ陳列用台紙を提供するものである。

【課題を解決するための手段】

本考案の商品の吊り下げ陳列用台紙は、シート材からなる吊り下げ台紙に商品の包装袋より小さい透孔を複数個あけ、かつ、この吊り下げ台紙の裏面に、片面に感圧接着剤を塗布した裏当材を接着して前記透孔を裏側から塞いだことを特徴とする。

また、本考案の商品の吊り下げ陳列用台紙は、透孔内であって商品の包装袋の開封用切込み部と接する位置に、裏当材の露出した片面を覆うカバー片を設けることができ、カバー片は吊り下げ台紙の一部とすることが好ましい。

【実施例】

以下、本考案を図面に基づき実施例をもって説明する。

第1図は本考案の実施例に係る商品の吊り下げ陳列用台紙の正面図、第2図は部分断面図であ

る。

これらの図において、1は厚紙やプラスチック等のシート材からなる吊り下げ台紙であり、この吊り下げ台紙1の表面2、特にその上部スペース部3には商品名や適宜な宣伝文等が印刷表示され、上辺部に吊り下げ用の下げ紐4が設けられる。そして、吊り下げ台紙1上には適當な間隔を置いて包装袋入り商品の包装袋より小さい適宜な形状にした複数個の透孔5が並べて設けられる。7は片面8に感圧接着剤9を塗布した裏当材であり、これには粘着テープ等を使用するのが適當である。この裏当材7は、その片面8を吊り下げ台紙1の裏面6に接着して透孔5を裏側から塞ぐものである。したがって、吊り下げ台紙1の透孔5内には裏当材7の感圧接着剤9を塗布した片面8が露出することになり、この部分が包装袋入り商品を仮貼着する貼付部△となる。

第3図は商品の包装袋10の上端部を透孔5内に露出する裏当材7の片面8に貼付して商品を吊り下げた状態を示し、この場合の商品は、いわゆ

る小袋入り食品を例にとるものである。なお、感圧接着剤9の露出する面積を決める1個の透孔5の大きさ、透孔5の形状、感圧接着剤9の接着強度等は、吊り下げの対象となる商品の大きさや重量に応じて適当なものが選ばれる。

一般的に各種食品等では、その商品の包装袋は、第4図に示すように刃物を使用することなく手で開封できるよう包装袋10の端部に開封用切込み部11が施されることが多い。第4図のものにあって開封用切込み部11は包装袋10の裏側上端部に位置する。前述の実施例の場合のように包装袋10に開封用切込み部11が存在しなかつたり、吊り下げ台紙1に貼付したときに開封用切込み部11が貼付部Aから外れているときは問題はないが、開封用切込み部11と吊り下げ台紙1の貼付部Aとが重なって接触し開封用切込み部11が貼付部Aに貼り付く場合には、商品を吊り下げ台紙1から外すときに包装袋10が開封用切込み部11部分より破れてしまうことがある。そこで、第5図は吊り下げ台紙1から商品を取り外

すときには開封用切込み部11から不用意に包装袋10が切り裂かれることがないようとした本考案の他の実施例に係る商品の吊り下げ陳列用台紙を示すものである。すなわち、この台紙においては透孔5内であって商品の包装袋10の開封用切込み部11と接する位置に、厚紙等からなるカバー片12を裏当材7の露出した片面8に貼着してこれを部分的に覆うことにより、包装袋10の開封用切込み部11が貼付部Aにおける裏当材7上の感圧接着剤9と接触するのを防ぐようにしたものである。

第6図はカバー片12を設けた台紙に商品入り包装袋10を貼付した状態を示す。図示のようにカバー片12を設けることでその分だけ貼付部Aの面積が減少するので、透孔5を大きくして接着強度が低下しないように補償している。なお、第6図のものでは包装袋10の上辺と矩形の透孔5の上辺の長さをほぼ同一とし、これら上辺を一致させて、商品の包装袋10を透孔5内に貼付すれば、開封用切込み部11がカバー片12上に接す

るよう、位置合せの目安を施している。

なお、カバー片12は吊り下げ台紙1とは別の紙片等を使用してもよいが、透孔5の縁部から続く吊り下げ台紙1と一体のものとしてもよい。

〔作用〕

本考案の商品の吊り下げ陳列用台紙は、吊り下げ台紙の裏面に、片面に感圧接着剤を塗布した裏当材を接着して透孔を裏側から塞ぐことで、透孔内に裏当材の感圧接着剤を塗布した片面が部分的に露出することになる。

また本考案の他の商品の吊り下げ陳列用台紙は、吊り下げ台紙の透孔内であって商品の包装袋の開封用切込み部と接する位置に、裏当材の露出した片面を覆うカバー片を吊り下げ台紙と別にしてあるいは一体にして設けたことにより、吊り下げ台紙の透孔内に貼り付ける商品の包装袋の開封用切込み部が透孔内に露出する感圧接着剤と接触することがない。

〔効果〕

以上述べたように、本考案の商品の吊り下げ陳

列用台紙は、吊り下げ台紙の透孔内に露出する裏当材の感圧接着剤に包装袋入り商品を押し付けるだけで貼付することができ、接着剤は感圧接着剤を使用するために包装袋入り商品を吊り下げ台紙上の取付位置に繰り返して貼り付けたり取り外したりすることができる。したがって、販売された商品のあとに生じる台紙上の空白部に商品の補充が簡単にできて常に吊り下げ台紙上に商品を満たした効率のよい陳列販売をすることができるとともに、吊り下げ台紙を使い捨てにせずに繰り返し使用できる。

また、商品陳列販売過程において台紙上の商品が漸減するなかで、残余の商品を台紙上で自由に位置替えし整理することができて奇麗な商品陳列ができる。

さらに、包装袋入り商品は感圧接着剤で吊り下げ台紙上に仮貼着しておくものであるため、取り付けや取り外しの際に商品の包装袋を傷めることがない。

そして、透孔内の所定位置にカバー片を設けれ

ば、商品の包装袋の開封用切込み部が透孔内に露出する感圧接着剤と接触する事がないので、包装袋の開封用切込み部が感圧接着剤に貼り付かず吊り下げ台紙から商品を外す際に包装袋の開封用切込み部から包装袋が破れるような不都合の発生を防止できる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の実施例に係る商品の吊り下げ陳列用台紙の正面図、第2図は同じく拡大部分断面図、第3図は商品を取り付けた状態の部分正面図、第4図は包装袋入り商品の説明図、第5図は本考案の他の実施例に係る商品の吊り下げ陳列用台紙の正面図、第6図は商品を取り付けた状態の部分正面図である。

1～吊り下げ台紙

5～透孔

6～吊り下げ台紙の裏面

7～裏当材

8～裏当材の片面

9～感圧接着剤

10～商品の包装袋

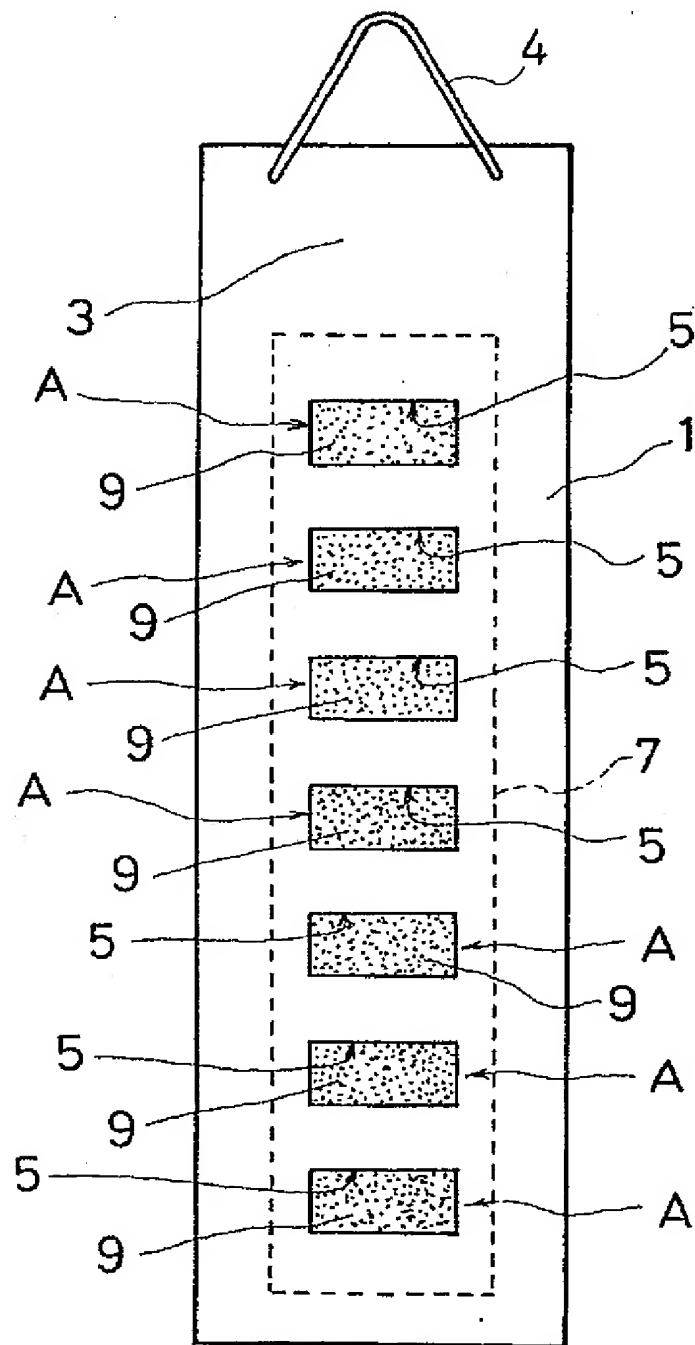
11～開封用切込み部

12～カバー片

実用新案登録出願人 キューピー株式会社
代 理 人 井上重三



第1図

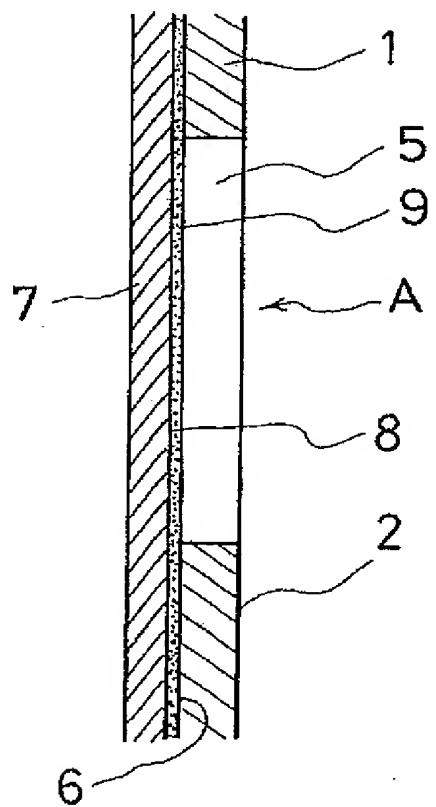


854

代理人 井上重三

実用2-34467

第 2 図

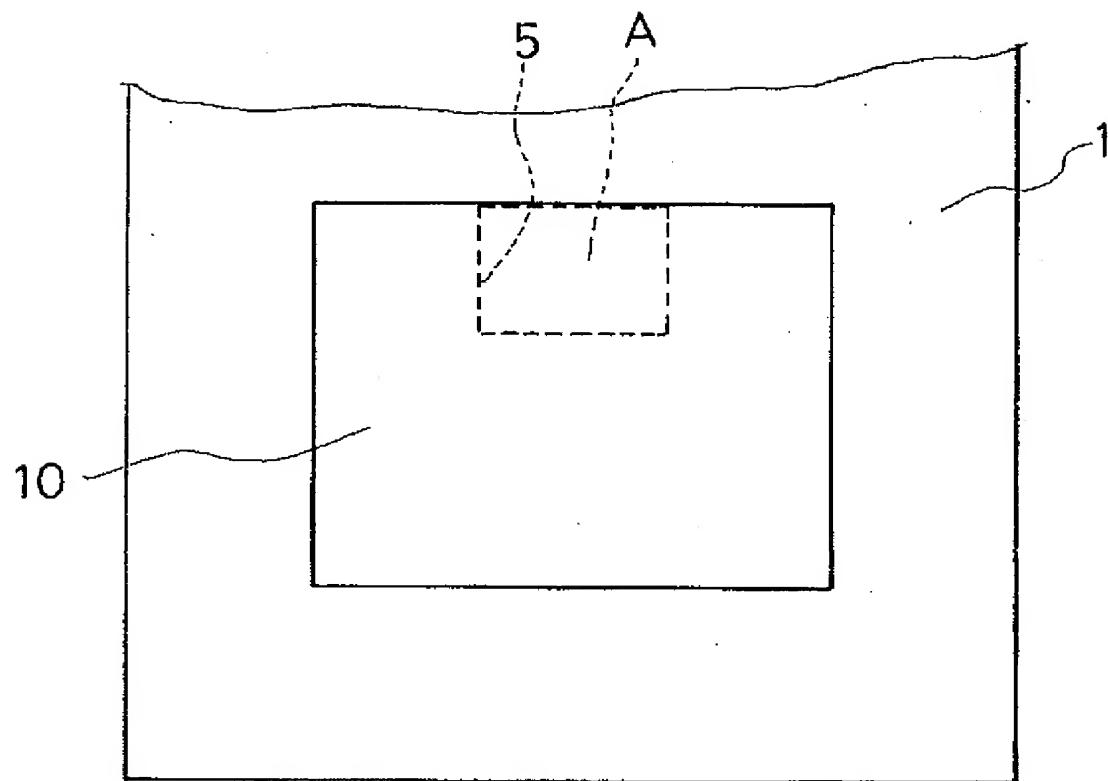


855

代理人 井上重三

実開2- 34467

第3図

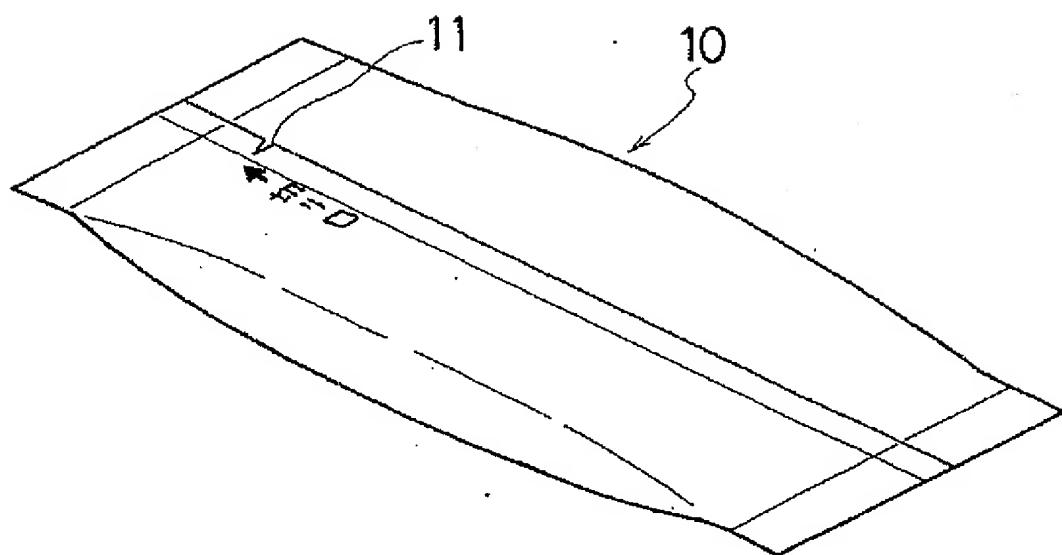


代理人 井上重三

856

実開2-34467

第4図

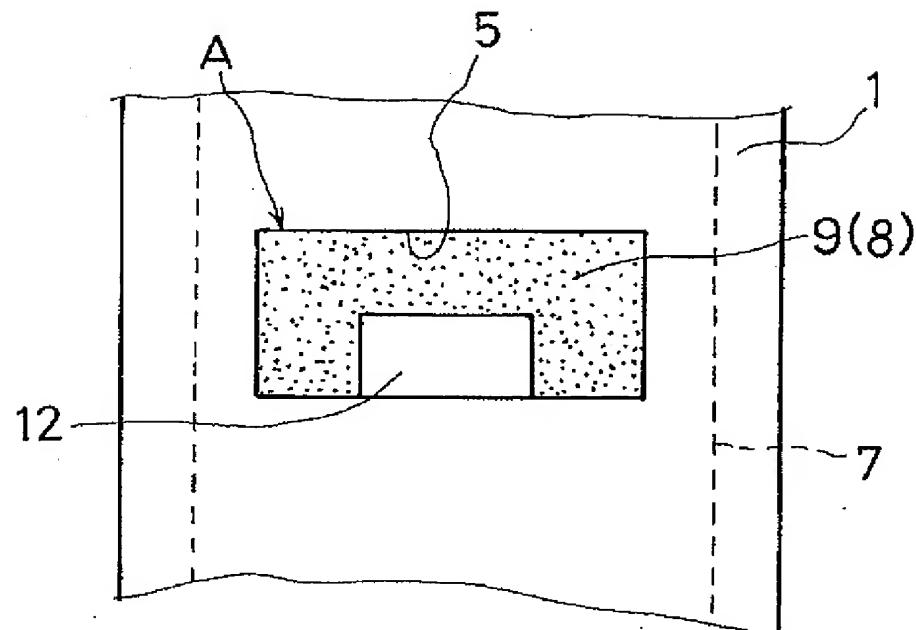


代理人 井上重三

857

実開2- 34467

第 5 図



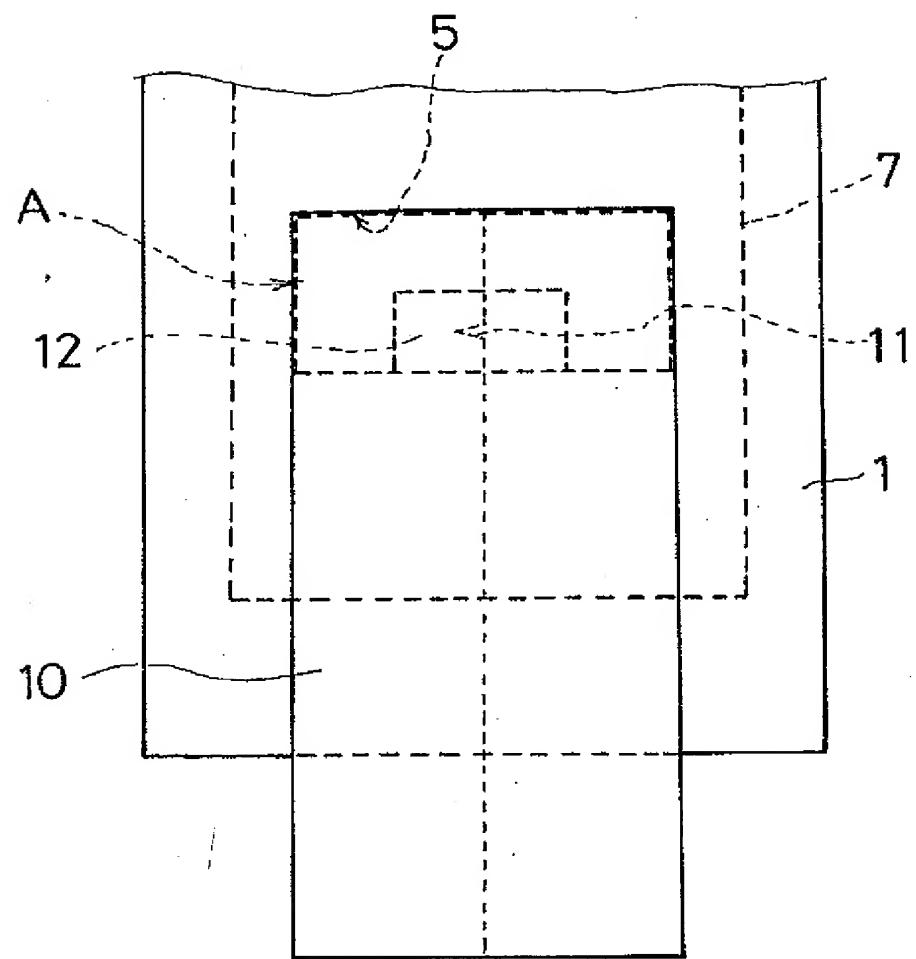
858

代理人 井上重三



実開2- 34467

第 6 図



859

代理人 井上重三

実開2- 34467